

東日本大震災における広島大学の対応について

第39回学長定例記者会見（平成25年3月25日）以降、広島大学が対応した内容を下記のとおり報告いたします。（詳細は、大学HPをご覧ください。）

本学は、地震により被災された皆様に対して、引き続き、できうる限りの支援を行う所存です。

記

1. 医療活動支援関係について

(1) 「三次被ばく医療機関」としての広島大学の活動について

- 神谷緊急被ばく対策委員会委員長による「原子力災害における放射線の健康影響」等の講演

※平成23年4月12日（火）～平成25年4月1日（月）までの実施状況

- ・ 福島県における講演（47回、約10,300人）
（委員長代理（細井教授）実施分（2回、約1,100人）を含む。）
- ・ 福島県以外での講演（52回、約12,500人）

(2) 広島大学病院での被災者医療支援関係

- 内部被ばく特別検診

予約制によりホールボディカウンタを使用した内部被ばく特別検診を実施しています。

平成23年8月1日から平成23年12月19日まで、毎週月曜日午後実施し、その後、機器の性能向上のための整備を行うため休止していましたが、整備作業終了後、平成24年11月20日から再開、毎週火曜日午後実施しています。

※ 平成25年4月23日（火）までの総受診者数 99人

2. 広島大学福島原発事故関連放射能環境調査チーム（学術室）の活動について

- 国立大学協会「平成24年度震災復興・日本再生支援事業」に採択された「福島県南相馬市の環境放射能調査」事業を実施しました。南相馬市における現場測定に加え、環境サンプルを収集し、放射線計測（空気中に浮遊する塵、河川等の水質、田畑の土壌、飲料水等）を実施しました。
- 「福島県南相馬市の環境放射能調査」の結果を南相馬市に報告すると共に、情報開示による市民の不安解消のため住民向けの説明会を開催しました（平成24年5月2日（水））。

- 平成 23 年 9 月から平成 24 年 12 月までの間、福島第一原発周辺の福島県南相馬市を流れる 4 河川で実施した汚染調査結果を基に、住民向け説明会を開催しました。（平成 25 年 3 月 28 日（木））。

【本件に関するお問い合わせ先】

財務・総務室 総務グループリーダー 吉岡

TEL：082-424-6011 FAX:082-424-6020